



最後の砦

校長 前田真喜子

紫陽花の花が道端や花園を賑やかに彩り、思わず目を奪われる日々となりました。紫陽花の花言葉は花の色によって異なりますが、カーネーションと同様母の日に送られることも多く、「家族団欒」という花言葉が近年とみに有名です。

「新しい生活様式」も少しずつですが、薄皮を剥ぐように姿・形が明らかになってきたように思われます。併せて、学校における教育活動も少しずつですが、以前同様とはならないまでも、平常の朝活動や授業等も新しい形で軌道に乗りつつあるように感じます。

歴史は繰り返すとよく言われますが、先日、このような急激な社会変化を、およそ150年前の明治維新を迎えた社会や武士に思いをはせる新聞を目にする機会がありました。明治維新という社会の変化を迎え、特に武士はそれまでの生活スタイルが大きく変わりました。武士の魂である刀の持ち歩き禁止、髪型もちょんまげ禁止というおふれも届き、生活の厳しさの中で不満が高まり、一部は不平士族の乱として爆発しました。歴史家磯田氏の著書「日本史の探偵手帳」によると士族は商いをして畑を耕してもなかなか成功しなかったらしいです。その中で、うまく行ったのは家庭教育に力を入れた家だそうです。磯田氏の言葉を借りれば「危機の時代になって、最後の砦になるのは『家庭と教育、そして勤勉さ』かもしれない」。そのうえで、学問を私利私欲のためのみに生かすではなく人間を大切にすることを視点を余裕を子供たちに伝えることの必要性を訴えておられた。当たり前が、当たり前でなくなったとき、揺らぐことのない幹がしっかりと根を張っていれば、何事が起ころうと大きくぶれることはないと考えます。子供には「人を大切にする」、学校においては「子供を大切にする」という大樹の幹のもと、これからも教育活動に取り組んでいきます。ご家庭でも、今一度「我が家の家訓」とも言えるような幹を再度家族で確認し合うことも良い機会ではないでしょうか。

数年後、数十年後、コロナ禍は大変だったけど、逆に良くなったこともあったと、振り返ることができるように、最後の砦である家庭と学校が一致協力して努力していきたいと思えます。今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願致します。

小中一貫教育

【クリーン作戦】

6月13日（土）、手打小学校と「クリーン作戦」を実施しました。

当初の予定では、5月に実施する予定でしたが、コロナ感染症対策に係る政府の緊急事態宣言を受けて、臨時休校となり、約1か月遅れの実施となりました。

最初に、体育館でオリエンテーションを行い、今年度転入学した小学生や、転入してきた職員員の自己紹介を行いました。中学生をリーダーとした縦割りの3班に分かれ、お互いに打ち解けあった後、小学1～4年生（前期）と中学2・3年生（後期）は手打浜へ、小学5・6年生と中学1年生（中期）はめいの浜へ向かい、清掃作業を行いました。曇り空の下、時折強風の吹く中での作業となりましたが、児童・生徒の頑張りもあり、およそ1時間ほどの短い時間にもかかわらず、大量のゴミを集めることができました。

生徒からは、「小学生と一緒に協力して手打浜をそうじすることができました。改めて島の良さを感じることができました。」といった感想がありました。



卒業記念焼酎「甌州Journey」製作

【サツマイモの苗の定植の前に】

6月になり、梅雨を迎え、芋苗の定植に適した時期となりました。卒業記念焼酎「甌州Journey」の製作のために育てた

芋の収穫のあと、芋の栽培に適した土の状態を維持するために、大根を植えて育てていきますが、気温が上がると立ち芋の定植時期から始めました。大根の収穫作業は中学生



だけでなく、手打小学校の子供たちにも協力してもらいました。6月16日（火）に、全児童が大根の収穫作業に駆けつけてくれました。小学生と中学生が協力しあい、一生懸命、立派に育った大根を抜き取っていました。収穫した大根は持ち帰り、地域の方々に配付したりしました。ぜひ、美味しく召し上がってほしいと思います。

歯と口の健康週間

生徒会健康管理部が、6月4日～11日を「歯と口の健康週間」に設定し、歯と口の健康の向上に関する取組について、積極的に活動を行いました。

取組のはじめとして、歯と口の健康に関する標語を募集し、広幅用紙にまとめ、保健室前に掲示しました。また、6月5日（金）には、給食終了後、健康管理部長の中野拓海さんの放送で、三分間一斉歯磨きを実施しました。生徒はそれぞれ、事前に配付された歯磨きチェックシートを参考に、手鏡を使って、磨き残しがないように注意をしながら、3分間丁寧に歯磨きをしました。



今回の取組を、普段の歯磨きでも生かし、「むし歯0」を目指してほしいと思います。

人権学習

5月29日（金）、全学年で合同、道徳を実施し、人権について学習しました。今回のテーマはハンセン病についてです。



ハンセン病について、「詳しく分からない、しかし怖い病気。」という病気に対する知識の不足や不安、また、そこから生じる偏見が国レベルでの隔離政策につながり、悲しい歴史を作りだしたことを学びました。生徒は、「ハンセン病は怖いけれど、一番怖いのは、苦しんでいる人を見て無視する人だと思った。」「強制的に隔離されて、怖かった。」「悲しかった」といっていました。今、テレビでコロナウイルスについて放送されているのを見て、怖いと思いますが、コロナウイルスの知識がないからだと思います。今は、無意味に怖がらず、正しい予防をしようと思います。」等、感想を述べました。

普通救命講習（2年生）

6月3日（水）の午前中、中学2年生を対象に、下甌分駐所の消防士を講師としてお招きして、3時間の普通救命講習を行いました。

心肺蘇生法やAEDの使い方など、実技を通じた講習に、真剣に取り組みました。受講後、全員「普通救命講習修了証」を受領しました。

生徒からは、「心臓マッサージがとても難しかったです。」「少しは人を助ける自信がつかしました。」といった感想がありました。



7月行事予定

- 7（火） 授業参観、学級PTA、学校保健委員会
PTA事業・教養部会
- 10（金） 合同計画訪問
(北薩教育事務所、市教育委員会来校)
- 11（土） 土曜授業日
- 15（水） 性に関する指導(2年) 地域こども会
- 16（木） 手打湾遠泳大会
- 17（木） 英検1次
- 20（月） 終業式

※ 予定であり、変更もあります。